

市政に関する

一般質問

要旨

第2回定例会では、25名の議員が質問を行いました。質問は、インターネット上で録画をご覧ください。

YouTube 多摩市議会 で検索してください。



YouTube
多摩市議会チャンネル

発言の全文を記載した会議録は9月上旬以降、市内の各図書館や多摩市議会のウェブサイトでご覧いただけます。



多摩市議会会議録
検索システム

「ガムランの誘い」(撮影者：匿名希望さん)
J Smile多摩八角堂のイベントにて 月とランタンとガムランと



小林憲一 (日本共産党)

1. 関戸3丁目など「内水氾濫」対策を
2. ワクチン接種とともに大規模なPCR検査でコロナ封じ込めを

問 関戸3丁目の大川の「内水氾濫」対策として、たとえば大栗川との合流点に排水ポンプ設置は検討できないか。

答 排水ポンプは、非常に有効な手段と考える。

問 昨年厚労省の内部文書にあるように、PCR検査拡大は医療崩壊や感染拡大につながると考えるか。

答 現在は、行政検査・モニタリング検査など感染拡大防止策強化が示されている。広くPCR検査が可能となれば、無症状の感染者を早期に発見し、さらなる感染を未然に防ぐことや、重症化防止に役立つと考える。市長会を通じて国や都に要望していきたい。

問 世論も求めているオリンピックの中止決断を、市長として国と東京都に求めてほしいが、いかがか。

答 よく「コロナに打ち勝った証しの五輪」との言葉が使われるが、現状はそうになっているのか、IOC、組織委員会、政府は、現況下での開催が、オリンピック精神がめざす理念、目的の実現につながっているのか、という観点で、再度、しっかりと判断してもらいたい。



折戸小夜子 (フェアな市政)

高齢者向け集団ワクチン接種予約にインターネットやAIでの先着順方式は最悪な方法だったのでは

問 高齢者より先行して、300人以上の市職員がワクチン接種を実施した事実は議会に情報提供なく議会軽視である。市民はマスコミ報道を知って批判の声が寄せられているがどうか。

答 議会に直ちに報告できなかったことは痛恨の極みであり、市民にもっと早く丁寧な説明が必要だった。

問 後期高齢者22,000人、前期高齢者21,000人に対する、ワクチン接種予約方法をインターネットとAI活用にしたことは大混乱を招いたがどうか。

答 国のデジタル化の方針もあり、効率的、迅速に接種を進めるため、インターネットを用い、これを使えない高齢者等のためにAIを使うことは最善の方法と考えた。

問 宮城県登米市ではアナログ作戦で接種日と会場をあらかじめ個人に振り分け、ハガキで通知し、都合の悪い場合や個別接種を希望する時のみ、コールセンターに連絡して済む方式とし、高齢者に負担がなく好評だったかどうか。

答 混乱や多くの苦情を受け止め反省し、今後進める。



藤条たかゆき (新政会)

1. ワクチン接種と今後の対応について
2. 東京オリンピック(ロードレース)のレガシーを未来へ繋ぐ

問 コロナ禍で様々な問題が顕著化してきたが、いきなり目の前に現れたものではなく、これまで日本が置き去りにしてきた問題が一気に炙り出されてきたのではと感じている。

高齢者の予約が開始された当初、電話予約が取り辛くWeb予約優位の状況が続いた。特に高齢者世帯は自宅にネット環境がないご家庭も多く、デジタル弱者の問題が改めて浮き彫りになった。大切なのは、そうした方々も決して取り残しませんという強いメッセージだが、その安心感を市民に伝えられていたか伺う。

答 配慮が十分でなかったと反省している。得た知見は今後に生かしていきたい。

問 東京2020オリンピック大会のレガシーとして有形無形の未来へ引き継げるものを残して頂きたいがどうか。

答 大会を契機とした未来に引き継ぐ価値あるレガシーの創出に向けて「東京2020大会レガシー自転車ロードレース」を事業として掲げている。

